

# 家庭教育学級

令和元年度  
第2号



だより



R01. 11. 18

編集：札幌市教育委員会 家庭教育学級担当

## ◎ 各学級への訪問録 第2弾（8～10月の学習会）◎

☆ 8月19日 「三角山小学校」の学習の様子です！

学習テーマ 親子でふれあいながら発声の基礎を学ぶ

講師 ヤマハ音楽教室 声楽クラス講師 飯田 香 さん



夏休み最終日の「親子合唱教室」には、学級生だけでなく、近隣校の子どもたちも参加しました。9月のPTAバザーの際親子で合唱発表を行ったと後日お聞きしました。



家庭教育学級を全校の皆さんに知ってもらえる素晴らしい取組ですね。曲は「ドレミのうた」。発声や呼吸の基礎などの練習は、大人にも小学生にもとても分かりやすく、歌うことを通して表現することの楽しさを存分に味わわせてくれる講座でした。親子で、各パートに分かれた練習時間もあり、学級生の皆さんはもちろん、明日から2学期！という子どもたちも、張り切って歌声を響かせていました。



☆ 10月3日 「北翔養護学校」の学習の様子です！

学習テーマ 子どもとその家族の将来のために

講師 日本相続知財センター札幌 加藤 るり子 さん



今年度新たに開級した北翔養護学校家庭教育学級では、障がいをもつお子さんの体調に、常に気を配りながら学級活動が進められています。



この日の講座は、この学校の保護者にとって、大きな関心事である「成年後見制度」がテーマでした。

親が亡くなった後、遺された子どもたちはどのようにして暮らしていけばいいのか。決して目を逸らすことのできない話題に、皆さん真剣な面持ちで聞き入っている姿が印象的でした。

講師からは、成年後見制度の概要だけでなく、日頃の財産管理・財産の遺し方・生前譲与の留意点など、専門家ならではの密度の濃いお話を聞くことができました。

子どもが自分らしく社会生活を送り続けるため、家族でしっかり話し合い、誰を成年後見人にすべきか考えておくなど、必ず訪れる将来に向けて具体的な指針が得られたようでした。

## ☆ 10月11日 「藤野南小」の学習の様子です！

学習テーマ 子どもの進路、将来について学ぶ

講師 札幌新陽高校 入試戦略室長 須藤 真臣 さん



社会の目まぐるしい変化に合わせて、入試制度も変わっていくことは、もはや必然。私たち親の知らない世界を生きていく子どもたちに、これからの時代で求められる考える力・生きる力を育むために親ができるサポートは何かを、考えさせられる学習会でした。

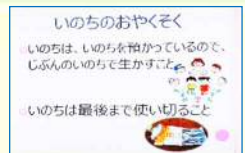
小グループごとの話し合いでは、「これからは、人間らしい価値判断・想像力が必要になってくるので、たくさんの経験を積ませて人間力を上げるようにさせたい」「子どもが自分でやりたいこと・好きなことを見つけていけるようにしてあげたい」「親自身が楽しんで、生き方のサンプルとして見せられるよう接していきたい」など、熱心で前向きな意見が出ていました。最後に講師から、唯一絶対の正解はないが、自分たちの時代とは根本から違うことを認め、子どもに対して「我々の時は〇〇だった」と押し付けない関わり方の重要性を教えてくださいました。



## ☆ 10月28日 「新琴似緑小」の学習の様子です！

学習テーマ 『いのち』について考えよう

講師 SAPPORO ハッピープロジェクト 高杉 ゆうこ さん



命が大切だと思っている人は？という問いかけには、全員の手が上がります。普段なかなか正面切って親子で話すことの難しい話題ですが講師自身の体験や、きれいな映像を織り交ぜての分かりやすいお話にどんどん引き込まれていきました。「命はどうして大切なの？ 命をもらって生きるって？ 命を使い切るって？」など、スリリングで興味深い内容を通して、自分と全ての生き物の『いのち』を改めて深く見つめる時間となりました。参加した皆さんからは、「子どもが成長するにつれ、いつしか他人と比較したり、否定的なことを言ったりすることがありましたが、生まれてきただけで幸せな気持ちでいた初心に戻って子どもの個性だけでなく、親も自分を大切に！ということに改めて気づきました。それは、子育てにプラスのモチベーションとなります」など、今後の子育てに生かすたくさんの示唆をいただいたことへの感謝が述べられていました。



## 【予告】情報交換会（後期）の開催について

前期に引き続き、後期の情報交換会を下記3回開催する予定です。後日2次案内をお送りします。学級生の皆さん、まずは日程と場所のご確認を！

- ① 1月22日（水） 東区民センター
- ② 1月31日（金） ちえりあ
- ③ 2月6日（木） 北海きたえーる



裏面に続きます

## ◎ 情報交換会（前期）を開催しました ◎

3回で計 120 人と、多くの皆さんにご参加いただきました。50 分間のミニ講座とグループトークの2部構成で実施。運営の工夫やオススメ講座などについて、大変活発に意見交換していただきました。皆さんの情報を、ここでフィールドバックします。

### ～ オススメしたい講座 ～

#### ◆ 食育・料理教室系 ◆

- ・料理教室（雪印メグミルク、明治、森永、ブルドッグ、大金ハム、デイリーキッチン、アートピア emina、ベル食品）
- ・中央卸売市場に魚さばき方講座
- ・和菓子処 小樽つくし牧田の和菓子製作（ねりきり体験）
- ・玉翠園の美味しいお茶の淹れ方講座（親子でも）
- ・おうちパン講座（フライパンやトースターで作れるパン）
- ・おなか健康教室（給食試食会時に開催、ヤクルト講師 腸トレマスター）
- ・さっばち親子料理講座（さっぼろみつばちプロジェクト）
- ・オタフクソースのお好み焼教室
- ・給食試食会（PTAとの合同開催など）
- ・手作り味噌講座（発酵食品）
- ・お漬物講座
- ・七草粥講座

#### ◆ 見学・体験講座（もの作り系/運動系） ◆

- ・工場見学（アサヒビール、小樽ビール、ホクリョウ、大金ハム…、親子で参加、開校記念日開催）
- ・高校、大学見学（主に中学校）
- ・裁判所見学（札幌地裁、親子、模擬裁判あり）
- ・陶芸体験講座（いちのまる陶芸、陶工房白うさぎさん）
- ・芸術の森（親子工作）
- ・市民防災センター
- ・ポーセラーツ(陶芸)
- ・護身術
- ・警察署庁舎見学（親子で）
- ・しめ縄・しめ飾り講座



ミニ講座 9/13  
人形劇や物語を通じた  
豊かな感情の育て方



#### ◆ 講座あれこれ ◆

- ・防災備蓄の備え方（フジカン 防災備蓄収納マスタープランナー）
- ・防災座談会（震災を経験した方を講師に、防災グッズ、ローリングストックの必要性）
- ・アナログゲーム～コミュニケーション（おちゃコンサルタンマスター）
- ・性教育講座（小学生向け、中学生向け、全校向け、清田ウイメンズクリニック助産師 ほか）
- ・国際文化交流（習字、折り紙、お茶、和服等海外からいらしたお母さんに体験してもらう）
- ・心の根っこを育てるお話会（子育て講座びんぼんはーと代表）
- ・アートセラピー（アトリエしまねこ アートセラピスト）
- ・新陽高校家庭教育学級セミナー
- ・親子でおかたづけ講座（ライフオーガナイザー ほか）
- ・おうちファイリング講座（整理収納アドバイザー）
- ・ミーナの手帳講座（時間の使い方を親子で考える）
- ・動物園の楽しみ方・学び方（生涯学習インストラクターの会）
- ・星空観賞会（青少年科学館）
- ・ジャパリン洗濯講座
- ・「紙で工作」講座
- ・救急救命講座
- ・情報モラル講座
- ・耳つぼ講座（ゆゆた工房）
- ・足育（日本人のための靴教育 シューエデュケーション）
- ・アンガーマネージメント講座
- ・不登校を体験した方の講話
- ・子どものやる気スイッチ（笑華尊塾）
- ・子育てコーチング（生涯学習認定コーチ）
- ・冷蔵庫の収納講座
- ・おこづかい講座（金銭教育）
- ・木製おもちゃ講座（キナダーリーブ）



ミニ講座 10/2

イライラはどこから？ 解決したい！うちの子の片付け問題



#### ◆◆ 講座の工夫 ◆◆

- ・食べ物系の講座で入級者を募る
- ・製作した作品を学校祭で展示してもらう
- ・校長先生、教頭先生、栄養教諭、学級生に講師を依頼する
- ・開級式と座談会、講座の同時開催。最初の講座にお金をかけて人が集まる講座を！
- ・自校の先生(特に新任)に講師をお願いすると、お考えやお人柄が分かる良い機会になる
- ・近隣校の企画に合同で参加(小学校の家教に中学校の保護者がOGとして参加など)



## ～ 学級運営の工夫 ～

■ 連絡方法 ■  で出欠や感想などを集約

■ 学級長・役員 ■ ・前年度学級生の有志



- ・持ち回りで
- ・PTA 活動のつながりの中から
- ・飲み会の席で役員を頼んでみる
- ・兄弟のいる保護者の方
- ・やってくれそうな方に直接声かけ
- ・担任の先生が引く、役員決めクジで

選出時期は？  
交代は？

- ・閉級式前後、12～3月など前年度中
- ・役員は1～2年で交代が多いが、2年続けるようにすると引継ぎがうまくいく
- ・学級長は1年ごとに変わったり、子どもが在校の間はずっと続けている方もいる
- ・副学級長が次年度の学級長になる
- ・役員は2年間限定など、システムが確立していると次の役員も決めやすい

難しい点？

- ・後継者がいない
- ・長年務めていた方が卒業してしまうと引継ぎが大変
- ・学級長・役員の負担が大きいので分担していきたい

■ 運営の工夫 ■

- ・講師のスケジュールを仮おさえして、グループを作ってから講座内容を相談する
- ・先生、OG・OBも参加して運営している（OB・OGさんも保険をかけて安心）
- ・4月当初に興味がある講座を学級生に聞いて年間予定を決める
- ・全校向けの「オープン講座」と学級生のための「クローズ講座」に分けている
- ・運営マニュアルや講座引継書等を作成するとよい
- ・前年度の役員中心に学級長と講座を決める
- ・班分けして講座を割り振って分担している
- ・一度依頼した先生にまた違うテーマで来てもらう
- ・夜のほうが参加しやすい人も

ミニ講座 9/19

「子育て世代のマネープラン」  
～ライブイベントから見える教育資金とは～



難しい点？

- ・仕事を割り振ると、辞めていく人がいる
- ・PTA 役員と学級長の意思疎通を図る必要
- ・働いている人でも参加できる工夫が必要
- ・学校に足を運ぶ人が少なく、講座に参加してもらう工夫が年々難しくなっている

■ 学級生集め ■

- ・年度初め、1年生歓迎会で募集プリントを配布する
- ・先に日程を決めておいてから学級生を集める 家教の年間活動のお便りを全校配布
- ・転入生保護者向け「お友達づくりませんか？」のお手紙は効果的だった
- ・学級生募集案内（お手紙、ポスター）はカラー、活動写真入りで 学校玄関にも掲示
- ・「家庭教育学級」という呼び名が固い 愛称（スマイリークラブ、ポッポの会 など）を前面に
- ・小学校では近隣幼稚園にも学級生募集の案内を出す
- ・途中入会 OK に OB・OG さん、先生方も学級生に
- ・楽しい活動を増やし、参観懇談会で学級生を募集



■ 費用・会費 ■

- ・学級費を集めている（300～500円） 無料の講座で経費節減
- ・年会費を決めたり1回ごとに集金したり、活動費確保のために工夫している
- ・PTA 会計からの補助や PTA 主催講習会との関係など様々な事情の変化も
- ・PTA フェスティバル（お祭り、バザー）で家教手作り品を販売 売上金を活動資金に

■ 参加の感想 ■

- ・他の学級の様子を知ることができて良かったです
- ・楽しかったです 他の学級生にもこの情報交換会にもっと来てもらいたいです